

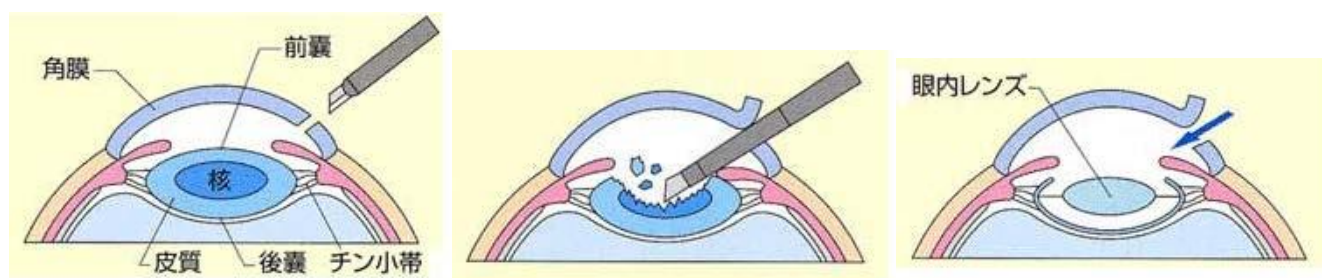
白内障手術を受けられる方へ

当院における白内障手術の方法、手術に関しての注意点、合併症などを簡単にまとめました。読んでよくわからないところがある方は遠慮なく担当医にご質問ください。

白内障手術の方法

当院では**超音波乳化吸引術**により手術を行います。これは水晶体を超音波で砕くと同時に吸引する方法で、ほとんどの施設ではこの術式を採用しています。眼球を切開する幅は2.4mmと短く、術後の乱視に対する影響や炎症も少なく抑えることができます。ただし、白内障の程度が強い場合や合併症がある場合は別の手術方法を選択することもあります。

手術では多くの場合**眼内レンズ**を入れることとなります。眼内レンズが入らないケースでは一旦手術を終了し、後日別の方法でレンズを入れることもあります。



眼球を切開する⇒水晶体を砕きながら吸引する⇒眼内レンズを挿入する

眼内レンズ

水晶体を取ったままだと多くの場合は強度の遠視状態になりピントが合いません。そのため、手術後の見え方を調整するため眼内レンズを入れます。レンズの度数は裸眼の状態で見え方を重視するか、あるいは近くを重視するかご希望を伺ってから決定します。担当医とよく相談してください。（術後の屈折誤差は光学式眼軸長測定装置を使用しているため小さいですが、全く無いわけではなく多少目標からずれることはあり得ます。）

乱視が強い場合は乱視用のレンズを使用することもあります。なお当院では遠近両用レンズは採用しておりません。

手術時間

他に合併症などがない場合は5～20分程度、合併症がある場合でも1時間以内に終了することがほとんどです。

麻酔方法

多くの方は点眼麻酔のみで十分手術を行うことができます。触っている感覚や押されるような感じは少しありますが、痛みはあまり感じない方がほとんどです。もし少し痛みを感じた場合でも、点眼の追加や結膜への注射を行うことで抑えられますので、我慢せずに術者に伝えてください。

また、今までに麻酔薬でアレルギー反応をおこしたことがある方は必ず手術前に伝えて下さい。閉所恐怖症や暗所恐怖症がある方、手術中に動くことが予測される方、手術に強い不安感を持っている方は全身麻酔をかけて手術を行います。

手術前の注意

術後の感染を予防するために手術の5日前から抗菌薬を点眼します。普段内服している薬は入院日数分を持参してください。また、血液が固まりにくくする薬（ワーファリン、バイアスピリンなど）は原則として中止しませんが、念のため使用している事をお知らせください。

手術中の注意

手術中に少し目が動く程度であれば問題ありませんが、念のため咳が出そうになったり、体を動かしたくなった場合は声に出して術者に伝えてください。あまり力が入ると手術がやりにくくなることもありますので、できるだけリラックスして手術に臨んで下さい。

手術後の注意

手術後しばらくは安静にしてください。トイレなどは行っていただいて構いません。手術した目は触らないように気をつけてください。多くの場合は翌日から眼帯をはずすことができますが、目の状態によってはしばらく使用していただくこともあります。

手術の期間

当院では原則として片目ずつ手術を行います。両目手術希望の方は一旦片目を手術してから2週間ほど期間を空けてもう片目の手術を行います。一回の入院は日帰り～2泊3日程度の場合が多くなっています。

手術の費用

一般、老人3割負担：約8万5000円
老人1割負担：約3万円

上記費用は概算です。個室利用やお貸出しするアメニティグッズは別途費用がかかります。入院日数によっても多少額は変動します。